

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 祖父江町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考							
				目標①		目標②		得られた効果		ABCD評価			今後の展開・改善点等								
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業所を中心に職員が巡回訪問して税務・労務・金融相談等の指導を行い、企業育成をする。また、経営全般に係る相談窓口を設置し、経営改善に資する指導も行う。	巡回指導 実企業数 95 延企業数 312 窓口指導 実企業数 47 延企業数 71 課題解決提案件数 10件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 38.3%)		指標	課題解決提案件数 (達成度 50.0%)		小規模事業者に寄り添った支援を行うことにより、小規模事業者の持続的発展に貢献できた。	総合評価	B	事業実施評価の	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	今後も巡回・窓口指導の徹底に努める。		
				目標数値	1000	実績数値	383	目標数値	20					実績数値	10	B	必要性	現行どおり		現行どおり	
				目標達成度			目標達成度							C	A	現行どおり	現行どおり				
記帳継続指導	職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導、決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力向上に結びつける。	指導延件数 675 対象事業者数 44 指導日数 422	小規模事業者	指標	記帳指導事業者数 (達成度 97.8%)		指標	(達成度 %)		記帳指導事業者に対し経営分析等の助言をし、経営力向上に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	小規模事業者の税務知識向上を図るため今後も継続実施する。		
				目標数値	45	実績数値	44	目標数値						実績数値		A	必要性	現行どおり		実施方法①	実施方法②
				目標達成度			目標達成度							B	A	現行どおり					
講習会事業	小規模事業者にとって必要な金融・税務等の知識習得及び時事的問題について啓発を図り、事業者の資質向上及び円滑な事業運営を資することを目的とする。	集団講習会 2回 延25名 個別講習会 32回 延40名	小規模事業者	指標	講習会開催回数 (達成度 103.0%)		指標	(達成度 %)		講習会を通じて、小規模事業者の資質向上や時事的問題に対する理解度を高めることができた。	総合評価	B	事業実施評価の	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	小規模事業者の資質向上や時事的問題に対応できるよう講習会の内容をしっかりと検討していきたい。		
				目標数値	33	実績数値	34	目標数値						実績数値		B	必要性	現行どおり		実施方法①	実施方法②
				目標達成度			目標達成度							A	B	現行どおり					
地域振興祭事業（そぶえイチョウ黄葉まつり）	そぶえイチョウ黄葉まつりを開催することで広く住民に産業・福祉・健康等についての関心・理解を深めてもらい、必要性を考える機会や場を提供する。晩秋になり黄金色に染まったイチョウの木が立ち並んだ風景でイチョウの町稲沢市祖父江町としてのPRに努め、地域の活性化を図る。	令和4年11月18日～令和4年11月27日の9日間開催 事業内容 各種アトラクション、俳句・写真・写生コンテストの開催 特産品等の販売、イチョウの木ライトアップ事業など 来場者数 240,000人	地域商工業者（小規模事業者）	指標	来場者数 (達成度 120.0%)		指標	(達成度 %)		マスコミ等を利用してPRすることにより、多数のまつり観光客に祖父江町の魅力を感じてもらい、地域活性化に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	今後もマスコミ等を利用して、まつりを通じて地域活性化に繋げる。		
				目標数値	200000	実績数値	240000	目標数値						実績数値		A	必要性	現行どおり		実施方法①	実施方法②
				目標達成度			目標達成度							A	A	現行どおり					
青年部・女性部事業	部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	青年部 チャリティゴルフ開催 視察研修会の開催 女性部 各種講習会などの開催 料理教室の開催	小規模事業者を中心とする 青年部員 女性部員	指標	部員数 (達成度 106.7%)		指標	(達成度 %)		定例会や研修会を行うことで部員相互の親睦を深め、イベント等を通じて地域との関わりを持つことにより地域社会の発展に貢献することができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	部員間交流や社会福祉を通じて地域活性化を図るため今後も引き続き実施する。		
				目標数値	45	実績数値	48	目標数値						実績数値		A	必要性	現行どおり		実施方法①	実施方法②
				目標達成度			目標達成度							A	A	現行どおり					
部会・委員会事業	商工業部会・小規模企業振興委員会等の部会・委員会活動を行い、部会・委員会参加企業の発展に資することを目的とする。	—	商工業各部員 小規模企業振興委員	指標	構成員数 (達成度 %)		指標	(達成度 %)		—	総合評価	—	事業実施評価の	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	商工業部会を通じて各企業の発展に努める。		
				目標数値	31	実績数値	—	目標数値						実績数値		—	必要性	現行どおり		実施方法①	実施方法②
				目標達成度			目標達成度							—	—	現行どおり					
福利厚生事業	小規模事業者の経営・雇用の持続的な安定を図るため、各種共済制度の普及等、企業の健全な育成に資することを目的とする。	—	小規模事業者	指標	共済加入事業所数 (達成度 %)		指標	(達成度 %)		—	総合評価	—	事業実施評価の	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	共済制度普及や福利厚生事業を通じて会員間交流を深めるため、今後も継続実施する。		
				目標数値	210	実績数値	—	目標数値						実績数値		—	必要性	現行どおり		実施方法①	実施方法②
				目標達成度			目標達成度							—	—	現行どおり					

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 祖父江町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考			
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価				今後の展開・改善点等		
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事実評価	自己評価	調査結果	満足度		補足	目標①	目標②
労働保険事業	労働保険料の申告納付、その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続きを行うことにより、事務処理負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	各種雇用保険関係手続年度更新などの事務代行労働保険未加入事業所への加入推進実施 自己財源の確保 委託事業者数 21	委託事業所（小規模事業者）	指標 委託事業者数 (達成度 91.3 %)	指標 (達成度 %)	委託事業所の労働保険に伴う事務代行を行うことにより事務量の軽減や信頼関係が得られた。	総合評価 B	事実評価 B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 B 必要性 B	満足度 B	補足	現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標②	委託事業所が増えるよう今後も事業実施する。			
税務関係団体指導事業 青色申告会 一宮法人会祖父江支部 一宮間税会祖父江地区	税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートして事業運営に協力することで、国・地方公共団体・地域社会の発展、商工業の活性化に資することを目的とする。	—	税務関係団体 会員事業所（小規模事業者）	指標 税務関係団体会員事業所数 (達成度 %)	指標 (達成度 %)	—	総合評価 —	事実評価 —	自己評価 — 目標達成度 —	調査結果 — 必要性 —	満足度 —	補足 新型コロナウイルス感染症による中止のため評価なし	現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標②	税務知識向上のため、今後も継続実施する。			
産業団体	産業団体の活動をサポートして事業運営に協力することで、国・地方公共団体・地域社会の発展、商工業の活性化に資することを目的とする。	—	小規模事業者	指標 構成員数 (達成度 %)	指標 (達成度 %)	—	総合評価 —	事実評価 —	自己評価 — 目標達成度 —	調査結果 — 必要性 —	満足度 —	補足 新型コロナウイルス感染症による中止のため評価なし	現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標②	経営安定化や社会貢献のため今後も継続実施する。			
若手後継者等育成事業 青年部員・女性部員の資質向上及びネットワーク構築事業	現在、青年部・女性部共に事業のマンネリ化が問題となっており、新規事業活動は停滞気味である。また、新規部員獲得が課題となっている。そこで、部員数増加の糸口を掴むために商工会全国大会への参加及び部員の資質向上のためのセミナーを開催する。	青年部資質向上セミナー開催 参加者数 15名 商工会 青年部全国大会の参加者数 3名	小規模事業者 を中心とする 青年部員 女性部員	指標 事業参加者数 (達成度 60.0 %)	指標 満足度調査（アンケート調査）を行いアンケート総数のうち、高評価を占める割合 (達成度 142.9 %)	セミナー開催及び全国大会への参加により、青年部員のビジネスに対する意欲の向上及び資質向上に繋がり青年部員の育成に繋がった。	総合評価 B	事実評価 B	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 B 必要性 B	満足度 B	補足	現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標②	今後も青年部・女性部活動を盛り上げていくような事業を実施する。 来年度資質向上セミナーは青年部にて開催する。			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。